

4-3 P1堰柱下及び根固め工チェックボーリング調査結果【③、④】

OP1～P2堰柱付近根固め工チェックボーリング調査 [A地点] (9月22日)

ボーリング柱状図

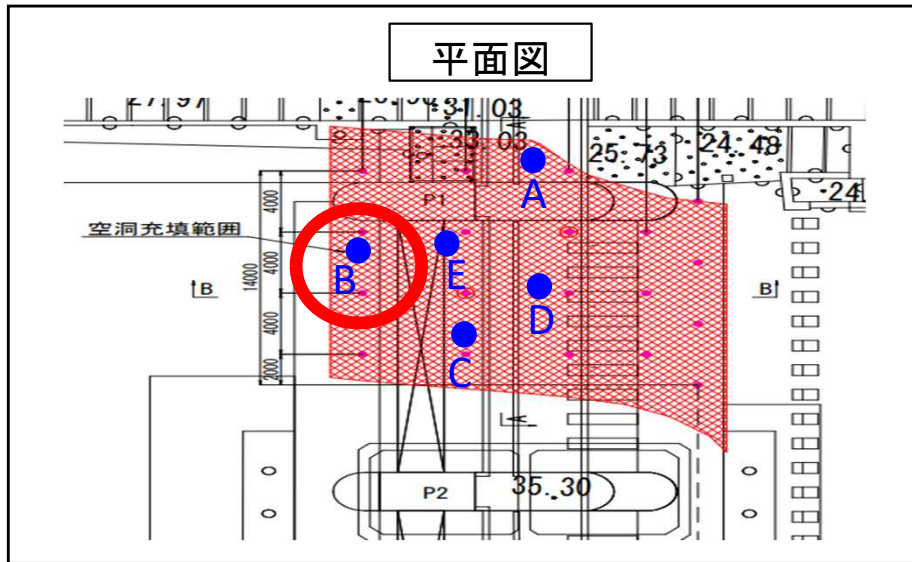
ボーリング名	No. A		調査位置	愛知県豊田市室町地先				北緯			
発注機関					調査期間	令和4年9月22日～4年9月22日			東経		
調査業者名				主任技師			現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者		
孔口標高		角	180° 上	方 向	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤 勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用 機種	試錐機	ハンマー 落下用具	半自動落下
総掘進長	6.60m	度	180° 下						0°	エンジン	

標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	柱状 図	土質 区分	色調	相対 密度	相対 稠度	記 事	孔内水位 m / 測定月日	標準貫入試験						原位置試験 深度 m	試験名 および結果	試料採取			室内試験 ()	掘進 月日					
											深 度 m	10cm毎の 打撃回数			N 値 - ○ -						深 度 m			深 度 m	試料 番号	採取 方法		
												0 5 10	10 20 30	20 30 40	0	10			20	30							40	50
1					コンクリート																							
2																												
3																												
4																												
5																												
6		0.70	5.60			改良体				割れ目多く、亀裂沿いに風化・変質が認められる。 CL級相当。															9 22			
		1.00	6.60		片麻岩	灰																						

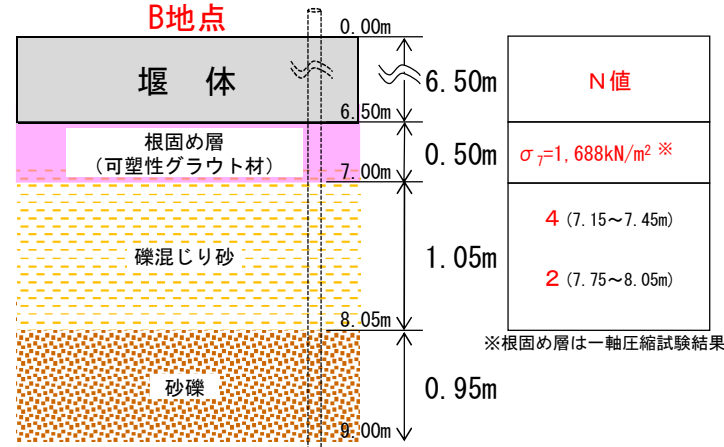
4-3 P1堰柱下及び根固め工チェックボーリング調査結果【③、④】

P1～P2堰柱付近根固め工チェックボーリング調査 [B地点] (9月17日)

- 根固め工（可塑性グラウト）とその下の堆積土砂の支持力確認のため、**B地点**のチェックボーリングを実施。
- 洪水吐き堰体コンクリート直下に**0.5m厚の根固め層**、その下に**1.05m厚のN値2～4の礫混じり砂**、更にその下に**0.95m厚の砂礫（礫径3～10cm程度）**を確認。
- なお、堆積土砂のサンプリングを試みたが、試験可能な容量を採取することが出来なかった。
- 根固め工の支持力については、コア採取による一軸圧縮試験の結果、 $\sigma_7=1,688\text{kN/m}^2$ の強度を確認。
(必要支持力：300kN/m²以上)



チェックボーリング状況図



礫混じり砂層において、試験可能な容量を採取できなかった。



根固め層の下に1.05m（深度7.00m～8.05m）厚のN値2～4の礫混じり砂を確認。

礫混じり砂層の下に0.95m（深度8.05～9.00m）の砂礫を確認。礫径は3～10cm程度。18

ボーリング実施状況 (B地点)



4-3 P1堰柱下及び根固め工チェックボーリング調査結果【③、④】

P1～P2堰柱付近根固め工チェックボーリング調査 [B地点] (9月17日)

ボーリング柱状図

ボーリング名	No. B		調査位置	愛知県豊田市室町地先			北緯
発注機関				調査期間	令和4年9月16日～4年9月17日		東経
調査業者名	主任技師			現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者	
孔口標高	角	180° 上	方	北	0°	地盤勾配	使用機種
総掘進長	9.00m	度	向	西	東	鉛直	エンジン

標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記 事	孔内水位 m / 測定月日	標準貫入試験						原位置試験 深度 m	試験名 および結果	試料採取 深度 m	採取方法	室内試験 (月 日)	掘進 月 日				
											深 度 m	10cm毎の 打撃回数			N 値 - ○ -											
												0 5 10	10 20 30	20 30	打撃回数 / 貫入量 cm	0							10	20	30	40
1					コンクリート																					
6.50		6.50																								
7		0.50	7.00		改良体																					
7.15																										
7.45					礫混じり砂	灰	非常に緩い		砂は粗砂を主体とするが、中砂、細砂も混じる。 φ5～35mm程度の亜角礫を混入する。																	
8		1.05	8.05						φ20～60mm程度の亜角礫主体。 基質は花崗岩起源のマサ土主体。 φ80～150mm程度の玉石混入する。																	
8.05																										
8.05		15	15																							
8.05					玉石混じり砂礫																					
9		0.95	9.00																							
9.00																										